

No	10	分類	2-(2)-ア	資料名	ナイスキャッチ	学年	5・6年	領域	道徳	2-(3)
----	----	----	---------	-----	---------	----	------	----	----	-------

1 ねらい

- 性差別や性別による誤った固定的役割分担に気づき、性差を正しく理解し、自分らしさを大切にすることのすばらしさに気づくとともに、自分の能力や個性を伸び伸びと発揮しようとする気持ちをもつ。

2 趣旨

- 児童の身近な生活の中で、必要以上に性別で疎外したり、役割の固定化が見られることがある。日々の生活の中の性別による固定的役割分担に気づかせ、社会的な合意を得ながら解決を図っていかなければならない。
- 「どうしても野球がしたい」という「わたし」の思いと、チームメイトやクラスメイトの気持ちの変容を通して、互いの人権を尊重し合い、よりよい関係を築いていく姿を描いている。
- 男女共同参画の観点から自らの生活を振り返り、だれもが自分の個性や能力を発揮できる社会をつくっていかうとする考え方を身につけさせたい。

3 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 野球クラブに入ることにした「わたし」の気持ちについて話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スポーツクラブを選ぶときの「わたし」の気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球大会の女の子がかっこよかった。 ・自分も野球がしてみたい。 ・女の子が自分一人だと寂しい。 ・みんなが賛成してくれないのは残念だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まぶしく見えた」の意味を考えさせ、女の子の自分らしい生き生きとした姿に感動していることを理解させる。 ・友だちと一緒に行動したい気持ちも理解し、それでも野球を選んだわたしの気持ちを理解させる。 ・まわりの友だちが性別による固定的役割分担意識にしばられていることに気づかせる。
<p>2 チームメイトの「わたし」に対する気持ちの変化について考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なぜ「わたし」を受け入れてくれるようになったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生けんめい練習したから。 ・野球が好きだという気持ちが分かったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームメイトが、「野球が好きだ、という気持ちに違いはない。」ということに気づいたことをおさえる。
<p>3 バレーボールクラブの友だちの気持ちについて考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バレーボールクラブの友だちは「わたし」をどんな思いで見ているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活躍してほしい。 ・楽しそうにがんばっていてよかった。 ・かっこいいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの一員として受け入れられて自信が生まれ、いっそうわたしらしく輝いていることに気づかせる。
<p>4 身の回りの生活の中で、「男だから」、「女だから」で決めつけられていることはないか出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカーの「なでしこジャパン」の活躍等の話をし、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮できることのすばらしさを認識させたい。 ・性差を否定したり、男らしさ、女らしさや男女の区別をなくすこと、また、家族のあり方やひな祭りなどの伝統文化の否定につながらないように十分配慮する。